

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

«無断転載禁止»

レジメン番号： GAST-143

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
胃がん (CLDN18.2陽性かつHER2陰性例)	Zolbetuximab +CAPOX	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Nature Medicine 2023;29:2133-2141

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
①	テキサート アロカリス ポララミン パロノセトロン	9.9mg 235mg 5mg 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																					
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	30分	↓																					
③	ビロイ ビロイ 生理食塩液	800mg/m ² (初回) 600mg/m ²	点滴静注	医師指示	↓																					
④	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																					
⑤	エルプラット 5%ブドウ糖液	130mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓																					
⑥	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																					
⑦	カペシタビン	2000mg/m ² /日	内服	1日2回に分けて朝夕食後	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	

<注意事項/備考>

- ✓ 過敏症 (L-OHP) : 7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害 (L-OHP) : 急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）
- ✓ 間質性肺炎：初期症状は息切れ、発熱、咳嗽（空咳）など。胸部X線検査やSPO2モニタリング等で定期的にモニタリングを
- ✓ 初回に悪心・嘔吐症状が高頻度に発現するため、前投薬および支持療法を必ず行う
- ✓ 投与速度により悪心・嘔吐の発現が増加するため、悪心嘔吐の忍容性をみながら投与速度を上げる(投与速度は投与量により規定された速度に従う)

- | |
|---|
| ✓ Zolbetuximab(ビロイ) Infusion reactionに注意(初回前投薬は必須ではない、当院ではポララミン注使用) |
| ✓ |
| ✓ |